

2020年7月1日

Value Management Innovation

株式会社ブイ・エム・アイ総研

「活・人・経・営[®]」コラム第81回

<新しい道を拓(ひら)く>

このたび世界中の国々で新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの尊い命が奪われ、経済面でもリーマンショックを上回るような大打撃を受けました。大自然の原理が人類に何かを語りかけているようです。

人の命を脅かす感染症の対策として、生命科学の未知の部分に対する探究と、経済の活性化を目指した新しい道を拓(ひら)くことが車の両輪のように私達の生命線となりました。

昨今は変化の著しい時代と言えますが、厄介なことにこのたびのコロナ不況は全世界にしかも瞬時に大型の変化となって現れました。従来のサプライチェーンが機能せず、経営の未来には益々不透明さが加わり、新しい道を拓くためのあるべき姿が見えにくくなっています。

しかしながら今迄の長い歴史のなかで、人類はそれまで出会ったことのない厳しい困難に直面しながらも、人の持つ気力と知恵と行動により、新しい道を拓いて参りました。現状打開の先には必ず新しい道が続いているはずで、宇宙に存在する無限のエネルギーを信じて、コロナ不況の打開に向けたアイデアを発揮していきたいものです。

<思考と行動の相互作用>

私は、思考のたいせつさを否定するものではない。しかし行動となって現れないような思考は、ビジネスにとって無用であり、ときには有害でさえあると思う。行動を伴わない思考は、腐敗を生むからである。思考と行動は、むしろ両者が相互作用を積み重ねながら成熟してゆくとみるべきではないか。一つの思考を行動に移し、その行動を吟味しながら、次の思考を生み出す。そんなスパイラルな動きの中から、生きたアイデアが生まれてくる。その意味で、思考の芽を育て伸ばす触媒は、行動だといえよう。

— 出典：「土光敏夫 信念の言葉」PHP 研究所編 —